

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	高増 千秋 / 佐野 太一
	Career Program	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース				2	曜日・時限	火曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>クラスメイト及び教職員と交流を図りながら、楽しく充実した学生生活を送ることができるように、必要なスキルやコミュニケーション力を身につけます。 また就職に向けて必要な知識も学びながら、業界研究等も行い自分のスキルアップを図ります。</p> <p>※実務経験: 2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。(高増) 広告業界において、企画制作に携わりその後教育職及び就職関連業務に従事。(佐野)</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来のキャリア目標を設定し、達成できるための計画を立てることができる。</li> <li>・自分が目指す業界に向けてさらに知識を身につけて、就職活動に活かすことができる。</li> </ul>							

授業計画・内容	
第1回	4/16 授業の説明、インフォメーション(学生生活の注意事項、学校ルールの再確認等)
第2回	4/23 生活習慣改善教育①、学生便覧再確認、GWの過ごし方
第3回	5/7 生活習慣改善教育②、GWの振り返り、就職活動及び求人票について
第4回	5/14 生活習慣改善教育③、就職活動及び求人票について
第5回	5/21 就業後の社会人基礎知識
第6回	5/28 就業後の社会人基礎知識
第7回	6/4 学校イベントに向けて ※状況に応じて内容を変更する場合があります。
第8回	6/11 学校イベント振り返り、業界研究(自分が目指す、就職する企業の研究)
第9回	6/18 業界研究(自分が目指す、就職する企業の研究)
第10回	6/25 業界研究のまとめ発表、意見交換
第11回	7/2 夏季休暇の目標及び過ごし方(就職活動も含む)
第12回	7/9 夏季休暇の目標及び過ごし方(就職活動も含む)
第13回	8/20 夏季休暇の振り返り、及び評価週に向けて
第14回	8/27 前期を振り返り、残り半年間の学生生活で何をしたいかをプレゼン・発表①
第15回	9/3 前期を振り返り、残り半年間の学生生活で何をしたいかをプレゼン・発表②
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率50% 課題提出50%
受講生への メッセージ	<p>学生全員が安心して気持ちよく学生生活を送ることができるよう本授業で様々な内容でグループワークや意見交換を行います。 クラスメイトを思いやりながら、また自分の夢に向かって一緒に頑張っていきましょう。 また自分の進路に向けて必要な情報や経験をしていきましょう! ※状況に応じてイベントや内容が変更となる場合があります。その際はアナウンスします。</p>
【使用教科書・教材・参考書】	
配布資料、パソコンを使用する機会がありますので告知します。	

科目名 (英)	就職講座  Work Seminar	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	江口 由香
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
				曜日・時限	水曜日3時限		
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          社会人基礎力や面接試験で必要な事習得する。          ※実務経験:専門学校 就職講座の講師として勤務実績多数。</p>							
<p>【到達目標】          社会人としての一般常識を学び、就職活動に必要なスキルを身に着ける。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション 授業の目的 就職・仕事に対するイメージと理想
2回目	自己分析① 他人から見た自分を知る・他者の魅力を伝える他己紹介ができるようになる
3回目	自己分析②自分の特性を知って今後に活かすことができる
4回目	自己分析③自分の強みや苦手意識を把握することができる
5回目	仕事をする意義 社会人と学生の違い 組織について説明することができる
6回目	第一印象の重要性 身だしなみから立ち居振る舞いまで習得することができる
7回目	企業研究 志望動機の作成ができる
8回目	就活での言葉遣い 話し方について習得することができる
9回目	履歴書の書き方と送り方について理解し実践できる
10回目	自己PR文の作成ができるようになる
11回目	面接の注意点と模擬面接実践
12回目	模擬面接実践
13回目	グループディスカッション
14回目	履歴書添削 仕上げ
15回目	試験(模擬面接)まとめ
準備学習 時間外学 習	自分の志望する業界を調べる
評価方法	●課題、提出物:70点 ●習熟度:30点
受講生へ のメッセー ジ	しっかり面接対策をして、希望の企業の内定をいただけるよう、頑張りましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
プリント等	

科目名 (英)	就職講座	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	大西 希久永
	Work Seminar	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース				2	曜日・時限	水曜日4時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 社会人基礎力、就職活動/面接試験に必要なことを習得します。 【実務経験】 様々な業界業種の研修、人材採用/人材育成に関して企業へのアドバイス業務を行なっている講師が、授業を行う意味、習得する意味を具体的に説明しながら授業を実施します。							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会人に必要な一般常識を学び、就職活動に必要なスキルを身につけることができる</li> <li>●自己分析/棚卸しをしっかりと行い、就職活動時、並びに就職後にも役立てることができる。</li> <li>●就職活動の流れを把握することが出来、就職活動の準備ができる。</li> <li>●現代社会における時事や多様性について理解し、説明できるようになる。</li> </ul>							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーション / 各自棚卸しシートを作成し、今後に向けて最初の準備を行う						
2回目	社会人と学生の違いを理解できるようになる、自身の強みと弱みを多く把握することができる						
3回目	社会人基礎力など企業が求める人材を知ることができる						
4回目	就職活動の進め方、求人票の見方、企業研究など就職活動に必要な情報を知ることができる						
5回目	身だしなみ、第一印象についてなど就職活動に必要な情報を知ることができる						
6回目	電話のかけ方・受け方など就職活動に必要なスキルを習得できる						
7回目	自己分析をすることができる						
8回目	効果的な自己PR文をつくることができるようになる						
9回目	効果的なES、志望動機と履歴書の作成の仕方を知ることができる						
10回目	面接について知ることができる / 面接ロールプレイングを通して、自分の言葉で受け答えができるようになる						
11回目	現代社会における時事や多様性について理解し、説明できるようになる						
12回目	ES添削や質疑応答など、各自疑問点や不安点を解決、解消することができる						
13回目	ES作成、面接練習を通し、就職活動の実際の準備ができる						
14回目	★評価週 面接実技、課題提出						
15回目	★まとめ・追試/再試 まとめ / 履歴書添削や質疑応答など、各自疑問点や不安点を解決、解消することができる						
準備学習 時間外学習	基本的には授業中の作業のみ。授業時に課題が終わらなかった際のみ、授業時間外に実施。						
評価方法	課題提出 70% 面接実技 30%						
受講生への メッセージ	必要になった際に慌てて準備をするのではなく、早い段階で自己分析を含めた就職活動時に必要となることの準備をしておくことが重要です。皆さんの状況や質問を踏まえながら、皆さんの役に立つ授業を都度組み立てていきます。疑問点や不安などは遠慮なく質問してください。皆さんの就職活動が実り多きものとなるよう授業を行なっていきます。						
【使用教科書・教材・参考書】							
なし							

科目名 (英)	英会話(スピーキング・リスニング) English conversation	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	はなだ 東砂 / 坂田 未央
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース/ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 曜日・時限 火曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          講義内容: 講師が、すでによく知っている参加学生のみなさんの実力や到達度に細やかに合わせて、それぞれの英検レベルに合わせた受験指導を、英語を楽しく学ぶための工夫(歌や映像を使って)をしながら、国際社会で通用する英語力を身に付けてもらいます。</p> <p>※実務経験: 2020年より、滋慶学園にてTOEIC対策、英検対策、英文法のクラスでオンラインと対面の授業、両方をおこなってきた。東京外国語大学英米語学科卒業。通訳経験あり。翻訳書多数。2012年から10年間、私塾にて延べ80名の小学生～大学生まで英語指導を行う。英検1級、TOEIC970点</p>							
<p>【到達目標】 各自が目標とする英検レベルの合格を目指し、4技能(読む、書く、聴く、話す)の力を付けていきます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介と今後1年間の目標を確認して、新たな気持ちで英語に取り組んでもらうためのモチベーションをあげる。
2回目	語彙力を身に付けることができる。中程度の長文を読む力をつけることができる。
3回目	語彙力を身に付けることができる。中程度の長文を読む力をつけることができる。
4回目	動画教材のききとりと穴埋めをして、内容の意味をつかむことができる。
5回目	動画教材のききとりと穴埋めをして、内容の意味をつかむことができる。
6回目	動画教材のききとりと穴埋めをして、内容の意味をつかむことができる。
7回目	かんたんな意見や考えを英語で表現できる
8回目	調整のための中間地点。これまでの授業を踏まえて必要と思われるドリルや練習をすることができる。
9回目	語彙力を身に付けることができる。長文を読む力をつけることができる。
10回目	語彙力を身に付けることができる。長文を読む力をつけることができる。
11回目	動画教材のききとりと穴埋めをして、内容の意味をつかむことができる。
12回目	動画教材のききとりと穴埋めをして、内容の意味をつかむことができる。
13回目	期末テストのための準備、質問、自習時間。自分の弱点を知り、これまでの学習の復習ができる。
14回目	期末テスト
15回目	テストの返却と解説。レクリエーション活動により英語の楽しさを知ってもらうことができる。
準備学習 時間外学習	前回の授業のかんたんな復習を毎回授業のはじめに行います。全員にあてますので、きちんと答えられるように復習しておいてください。
評価方法	普段の学習態度とこちらからの質問に対する答えなど:3割 期末テスト:7割
受講生への メッセージ	いよいよ最終学年ですね。力をしっかりもっている方ばかりですから、あとひとがんばりして社会に出た後で通用する英語の力をしっかり身に付けていきましょう。語学習得への道のりは長いですが、なるべく楽しく取り組めるように講師も工夫しますので、ともに英語の山を登っていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
旺文社「7日間完成シリーズ」「英検過去問シリーズ」 講師によるプリント類	

科目名 (英)	英会話(スピーキング・リスニング) English conversation	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	はなだ 東砂 / 坂田 未央
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p> <p>※実務経験:英語講師歴20年以上。英語翻訳業実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス)/British Council (ブリテッシュ・カウンシル)受講終了などの経歴及び資格を有する。</p>							
<p>【到達目標】          基礎英語を学ぶ。英検に合格できる。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/リスニング語彙学習プリント/リーディング練習
2回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/リスニング語彙学習プリント/リーディング練習
3回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/リスニング語彙学習プリント/リーディング練習
4回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/リスニング語彙学習プリント/リーディング練習
5回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/リスニング語彙学習プリント/リーディング練習
6回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/リスニング語彙学習プリント/リーディング練習
7回目	中間テスト/英検面接実践/課題提出
8回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/リスニング語彙学習プリント/リーディング練習
9回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/リスニング語彙学習プリント/リーディング練習
10回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/リスニング語彙学習プリント/リーディング練習
11回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/リスニング語彙学習プリント/リーディング練習
12回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/リスニング語彙学習プリント/リーディング練習
13回目	リスニング練習問題/スピーキング練習/リスニング語彙学習プリント/リーディング練習
14回目	期末テスト/中間テスト/英検面接実践/課題提出
15回目	企画レッスン
準備学習 時間外学習	休暇時に課題提出あり
評価方法	授業態度10%、出席率10%、課題提出40%、中間テスト(面接実践)20%、期末テスト(面接実践)20%を総して採点
受講生への メッセージ	基礎英語の総復習から英検合格を目指して、丁寧に学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
英検とTOEICテストにできる単語・熟語が同時に身につく本 / 英検5・4・3級合格単語スピードマスター1250 / 10日で出来る中学英語3年年分丸ごと総復習 / 英検100%合格にこだわった本 各級3級 準2級、2級 / 英検過去3回問題集(最新のもの)3級 準2級、2級 / 英検過去6回問題集(最新のもの)準1級等	

科目名 (英)	英会話(ライティング) English (Writing)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	MONESTES DAVID
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日4時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 幅広い言語の使い方を高めて、一般的なビジネスシーンを例にしてリーディングとライティングそしてロールプレイもするコースです。</p> <p>※実務経験:2021年～オンラインで外国語の教師を務める。また九州日仏学館で約1年勤務したのちに、2023年から当校で講師を務める。</p>							
<p>【到達目標】 ビジネスに関しての基本の単語やフレーズを使えるように目標としています</p>							

授業計画・内容	
1回目	Self-introduction
2回目	Brainstorming session
3回目	Presentations ①
4回目	Presentations ②
5回目	Business calls
6回目	Asking for further instructions
7回目	Welcoming Visitors
8回目	Describing a business
9回目	E-mail
10回目	Apologizing
11回目	Making a Reservation
12回目	Dealing with Problems□
13回目	復習
14回目	試験
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	オンライン授業を行うこともあります。必ずタブレットもしくはパソコンを持参して受講するようにしてください。
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>オリジナルの材料と出版社教材</p>	

科目名 (英)	英会話(リーディング) English (Reading)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	MONESTES DAVID
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 金曜日3時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) このクラスではリーディングから会話へを目標としています。1週間ごとに日常会話をベースにした教材を読んでディスカッションをするという形と生徒が自分で選んだ記事についてクラスで発表するという形を交互に行うコースです。</p> <p>※実務経験:2021年~オンラインで外国語の教師を務める。また九州日仏学館で約1年勤務したのちに、2023年から当校で講師を務める。</p>							
<p>【到達目標】 単語スキルを高めること、人前で英語で発表できること、読んだテキストを要約出来るように目的としています。</p>							

授業計画・内容	
1回目	Birthplaces and Residences
2回目	Practicing reading and speaking from Daily News
3回目	family and relatives
4回目	Practicing reading and speaking from Daily News
5回目	Traveling
6回目	Practicing reading and speaking from Daily News
7回目	Movie
8回目	Practicing reading and speaking from Daily News
9回目	The Look
10回目	Practicing reading and speaking from Daily News
11回目	Reading a Novel
12回目	Practicing reading and speaking from Daily News
13回目	復習
14回目	試験
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	オンライン授業を行うこともあります。必ずタブレットもしくはパソコンを持参して受講するようにしてください。
評価方法	筆記試験 100%
受講生へのメッセージ	
<p>【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルの教材と出版社教材</p>	

科目名 (英)	ホテルマネジメント Hospitality management	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 木曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          本校において、世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の株HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】          ホテルに限らず、ビジネスは利益と経費の相関関係である。ホテル飲食業界で売上に応じた適正な経費の範囲を、それはどういう根拠によって計算されるのかを共通認識として持ち、ホテルレストラン業界マネジメントの基礎を習得する。営業分析数値を自ら操り、P/Lの読解分析が出来るレベルを到達とする</p>							

授業計画・内容	
1回目	ホテルの原価とは何か理解することができるようになる。客室の原価の有無について知ることができる
2回目	ホテル旅館の倒産する原因が理解できる様になる 潰れるホテル旅館の共通点が判る
3回目	ホテルの利益と経費 の内容が理解出来、利益を出すポイントが理解できる様になる
4回目	ホテル売上管理の流れ や ホテル会計用語が理解出来る様になる
5回目	宿泊料数値分析 手法が理解出来、小問題を解くことが出来る 解答説明 戦略は分析からの意味が解る
6回目	ホテルの損益収支問題を解きながら、損益収支の見方が理解出来るようになる こんなに売上で利益はこれだけ？増収減益の疑問を解決することが出来る
7回目	経費を節減する2つの方向性で経費の削減方法が理解できる 経費節減できないホテル旅館事例 で問題点が判る様になる
8回目	FBCの重要性 が理解出来て原価意識が高まる様になる 標準原価と実態原価を知ることでロスを発見することが出来る様になる
9回目	PDCAサイクルで経費節減の手法が理解できる様になる
10回目	ホテルマネジメントに有効な経営指標を理解することで、経営判断の重要性を理解することが出来る
11回目	PMS CRMの重要性を認識し、その仕組みを理解することが出来る
12回目	自分ホテルを計画してみよう！！ 業態構成から 損益収支試算表作成迄を自ら計画する知識を持つことが出来る
13回目	経費削減の検討 重篤レベル と 優先順位を探る事が出来る 夏休み課題は損益分岐点売上高(固定費・変動費・限界利益)の計算問題を解くことが出来る
14回目	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
15回目	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか？のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目標を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色んな産業経済に目線を開ける習慣付けを指導したい。レストランマネジメント授業と連動して自分ホテルの事業計画と経営シミュレーション体験を実施する。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生へのメッセージ	入るを計って出るを制す 商いの基本を感じてもらいたい。 ホテルマネジメントでもコストコントロールは マネジメント(経営)の主役の部分です。単に経費を削る事では無く、無駄を省きあるべき姿を追求する という点では日常生活にも応用できる学習です。ホテル旅館業界の人手不足が取りざたされる昨今ですが、切実に不足するのはマネジメント人材です。ホテル業は元より観光産業全般に関心を寄せ、観光立国ニッポンの為に沢山学びましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生使用テキスト無し</li> <li>・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題</li> </ul> <p>※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcelを使用します</p>	

科目名 (英)	ホテルマネジメント技能検定 Hotel management exam	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 木曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          本校において、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】          ホテル業界を目指す学生の多くは接客が好きだとか、ホテルオペレーションに関心の高い人が多いです。勿論、ホテル業の最前線は接客サービスで始まりますが、ご存じの通り、今ホテル開発は商業施設、オフィス施設、ホテル宿泊施設として不動産デベロッパーにより複合施設として世界中で開発されています。その中で不動産開発する側とホテル運営現場で働く人とのビジネス経営の知識格差が散見されます。もはやホテル業界では「おもてなし」だけでは食えない時代になりました。現場は現場教育で時間をおけば習得できますが、ホテル業をビジネスとしてホテル経営学の本質と実践を学び、習得する事で上位職への門が開かれます。当面の目標として在学中にホテルマネジメント検定試験3級合格を目指す。</p>							

授業計画・内容	
1回目	2年後期授業に続き、今前期の授業スタイル説明
2回目	ホテル業務運営管理 必要な知識や技能が理解出来る 過去問題
3回目	宿泊業務に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
4回目	料飲業務に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
5回目	宴会部門に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
6回目	営業部門に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
7回目	ホテルマーケティングの知識と技能が理解出来る 過去問題
8回目	施設管理業務の知識と技能が理解出来る 過去問題
9回目	危機管理職種 コンプライアンスの知識と技能が理解出来る 過去問題
10回目	ホテル事業計画につき、必要な知識が理解出来る 過去問題
11回目	ホテル会計の概要が理解出来る 過去問題
12回目	損益計算書や損益分岐点売上や主要分析指標の内容が理解出来る 過去問題
13回目	ホテルマーケティングとホテル購買管理の仕組み、人材育成の重要性が理解出来る 過去問題
14回目	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
15回目	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか?のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目標を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色んな産業経済に目線向けの習慣付けを指導したい。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	ホテルマネジメント検定3級の受験合格を目指します。最近の問題の傾向に、日頃の世界や日本の観光業、ホテル、旅館、航空業界などの話題に関する出題が散見されます。業界に関するメディア情報に敏感に反応しましょう。又分析数値問題にも慣れる事が大切です。数値判断は社会に出てからも必要なスキルになり、学生時代に慣れる事が一番です。合格目指し、頑張ろう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>・学生使用テキスト ホテル・マネジメント概論          ・他プリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題 ※基本的に過去問題中心に学習します。</p>	

科目名 (英)	レストランマネジメント Restaurant management	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          本校において、激変する世界市場の中でホテルビジネスマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来予測をしながら、収益を上げる為のホテル・レストラン経営の基礎から学び、未来に通じる知識や能力を認識し、世の中の変化に対応出来る様な能力を持てる様になる指導をする。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の株HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】          ホテル業の中のレストランの位置づけと、ホテルレストランと路面レストランとの違いを認識し、自らが飲食業を開業経営するために必要な基礎知識と開業シミュレーションを通じた学習を行う。自らがそれぞれのテーマに取り組み、学生自らが ①感じ ②考え ③記録 ④行動 (プレゼン) が出来、学生自らの 研究心が醸成され、レストラン経営の基本的な事が理解出来、ホテルレストランでの運営に充分対応出来る力が備わる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	初回授業 授業スタイル説明 レストラン。マネジメント は何故必要か? が理解できる
2回目	ホテル内レストラン と 路面レストランの違いが、何であるか理解できる
3回目	レストランマネジメント(経営)の仕事内容と、その魅力が判る
4回目	レストランコンセプトを考える コンセプトシートを各自作成する事が出来る (客席、人員、厨房、等)
5回目	売上計画を立てる 1. (メニュー、価格政策等を考慮し、自店舗の売上計画を作成する事が出来る)
6回目	収支計画を立てる 1. 売上に対し費用を考え、推定値を想定し、収支計画書を作成する事が出来る
7回目	収支計画を立てる 2. 売上に対し費用を考え、推定値を想定し、収支計画書を作成する事が出来る
8回目	サービス力向上 と商品力向上 の為の ABC分析表の作成と、活用法 を認識する
9回目	顧客情報収集と活用法を認識する
10回目	経営管理(数値分析) レストラン運営において様々な数値管理方法がある事を認識し、活用する事が出来る
11回目	利益管理と損益計算書 レストランP/Lを読む事が出来る
12回目	損益分岐点売上高 分析 損益分岐点売上高を算出する事が出来る
13回目	自前 レストランの概要と収支モデル のプレゼンテーション 1. 自前の飲食店の経営収支モデルを皆の前でプレゼン実施する事が出来る
14回目	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
15回目	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	・新聞やネット情報に対し関心を持ち、感じる力と、その情報に対し考える習慣、その考えた事を記録に残し、自分の考えを発言できる様にする為、日頃からニュースに関心を持つ事 最も大事にしたい事は現状を認識して未来を予測する力をつける事。マネジメントやマーケティング知識に合わせて、自らが調査研究したことを纏めて、プレゼン出来る能力を高める。
評価方法	日常での小テスト及び、レポート内容と最終期末試験を実施
受講生へのメッセージ	ホテル運営とレストラン運営は密接な関係があります。今講座はホテル直営レストランと路面店舗の相違点を探り、昨今のホテルが飲食部門を何故、アウトソーシングにするのか?等を探ります。又、皆さん個人個人の店舗開発計画を策定し、コンセプト作りから収支計算を含む開業計画シミュレーションを前期末に実施します。もしも、皆さんが飲食業開発される際の参考になる様な講座にしますので、其々に開業をイメージして下さい。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生使用テキスト無し</li> <li>・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題</li> </ul> ※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcelを使用します	

科目名 (英)	ワイン解説Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	田辺 大気
	Study of Wine II	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホテルマネジメントコース / ホテルグローバルマネジメントコース					曜日・時限	月曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          ワインに関する基礎知識を得ると共に、実践形式での授業を行い即戦力となることを目指す。授業前半座学、後半実技。</p> <p>※実務経験:2009年株式会社ホテルオークラ福岡入社。宴会場3年、バーに11年勤務し飲食サービスに従事。ソムリエ資格、バーテンダー資格、レストランサービス技能資格などを取得。在籍中、カクテルコンテストに出場、ホテル内のワイン教室カクテル教室など講師を担当。メインバーにてアシスタントマネージャー。店舗管理・後進の育成に努める。2023年3月退職。同年4月に福岡市内にてバーを開業。現在に至る。          事務局を務める日本ホテルバーメンス協会九州支部より派遣され今回講師を務める。</p>							
<p>【到達目標】          ワインに関する歴史、栽培、醸造方法、各国のワインについて知識をつける。          技術面では、ワインサービスに関わる各器材の使い方、提供方法、セッティング、片付けまで習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	酒類概論 飲料サービス用備品に触れる(2回目より毎回サービス実践)
2回目	ワインの歴史やブドウの栽培方法、醸造方法を学び、ワインについて知る ワインサービスの実践
3回目	ワインの主要なブドウ品種、ラベルの読み方、ワインのサービス方法を知る ワインサービスの実践
4回目	ワイン生産国について ①フランス ボルドー・ブルゴーニュの2大産地 ワインサービスの実践
5回目	ワイン生産国について ②フランスその他の主要産地 ワインサービスの実践
6回目	ワイン生産国について ③イタリア・ドイツ・スペイン ワインサービスの実践
7回目	ワイン生産国について ④アメリカ・チリ・日本 ワインサービスの実践
8回目	ワイン生産国について ⑤オーストラリア・ニュージーランド・南アフリカ ワインサービスの実践
9回目	ワイン以外の飲料について ビール・スピリッツ・リキュール 各種飲料の提供実践
10回目	ワイン以外の飲料について 日本酒・カクテル 各種飲料の提供実践
11回目	レストランシミュレーション(サービストレーニング)
12回目	レストランシミュレーション(サービストレーニング)
13回目	復習・ディスカッション
14回目	試験
15回目	試験の復習
準備学習 時間外学習	
評価方法	筆記試験
受講生へのメッセージ	まずはワインに親しみましょう。 ワイン以外のことでも、レストラン・バー・ホテルに関することは何でも質問してください。 ※授業は制服(スーツ)で受講してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
講師作成資料(参考文献:日本ソムリエ協会教本 HBAオフィシャルバーテンダーズブック)	

科目名 (英)	財務会計学 Financial accounting	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          本校において、世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測しながら、収益を上げる為のレベニューマネジメント手法の基礎からホテルマネジメントの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為に数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の株HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】          レベニューマネジメントは航空業界から始まり、今やあらゆる業種において活用され、ダイナミックプライシングやイールドマネジメント等と名を変えて進化し続けている。特にAIによってホテル販売価格など決定されるが、その背景を認識し、ホテル客室料金設定の仕組みを知る事。また、合わせて日常的にホテル内で使用される数値計算を解答できるように指導する。多くのホテリアはオペレーティングに関しては教務深く意欲も沸くが、ホテルを企業経営として深く認識し、利益の最大化を図る為のマネジメント意識を上げる事。</p>							

授業計画・内容	
1回目	レベニューマネジメントとは何か その原理原則を知り、RM(レベニューマネジメント)の目的が理解できる
2回目	収益管理の商品特性と市場が理解でき、RMの重要性を知る事ができる
3回目	需要予測の重要性 ホテルの商品やサービスの需要に関するデータ収集分析が将来の販売予測に重要な理由が理解できる
4回目	現在の数値分析の内容及びその重要性が理解出来るようになる
5回目	現状分析から将来の数値を予測する必要性を知る事である
6回目	需要予測と戦略的価格設定の関係性を理解し、価格がどのようにして決定するかのプロセスを知る事ができる
7回目	在庫と価格管理 最適な在庫管理の手法をりかいはできる
8回目	顧客の市場区分別分析や在庫管理戦略としての売り越し実施の条件を理解できる
9回目	価格管理 客室レートの設定 在庫と価格管理の関係性を認識することができる。
10回目	流通経路管理 非ネット系流通経路の分析手法を理解できる
11回目	ネット系流通経路 分析手法を理解できる
12回目	宿泊収入 競合他社分析基準 を理解出来るようになる
13回目	飲食サービスのレベニューマネジメント概要を知り、宿泊業以外での価格設定方式を認識することができる。
14回目	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
15回目	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	基本的にWebsite情報を元に、色んな情報の収集を行い、分析に入る事が出発点。つまり戦略は分析から...であることを指導する。つまり学校内だけが学習の場面では無く、社会のニュースやホテル事業施設周辺マーケットや流通サービス業の価格設定等も常にリサーチしておく必要がある。情報収集能力と情報整理し学びは日常の中に沢山あり、それに気づく事が重要です。sいる 又、PCやタブレットは単なる道具ですが、当然ながら道具を使いこなすPCスキルも必要です。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生へのメッセージ	Revenue Management Yield Management Dynamic Pricing の言葉や手法が頻りに登場する世の中です。その原理原則を学ぶことでホスピタリティ産業ではどの様に活用されているかが、認識出来ます。ホテル業界は勿論「おもてなし」の精神と技術は必要ですが、一方では冷静な判断でマネジメントする能力が必要です。つまり、「Cool Head & Warm Heart」冷静な分析判断能力と、優しい暖かいおもてなしの心のバランスが必要です。産業情報にアンテナを張って沢山学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生使用テキスト無し</li> <li>・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題</li> </ul> ※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcelを使用します	

科目名 (英)	企業プロジェクト	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高増 千秋 / 佐野 太一
	Corporate Cpllaboration Project	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース					曜日・時限	木曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
産学連携の取り組みを通して実務経験に近い環境を提供し、課題やプロジェクトに取り組むことで、現実のビジネス環境でのスキルや知識を開発する機会を得ることができる授業を実施します。 ※実務経験: 2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。(高増) 広告業界において、企画制作に携わりその後教育職及び就職関連業務に従事。(佐野)							
【到達目標】 企業様との取り組みの進捗を追跡し、成果を適切に報告するスキルを習得することができるようになる。 論理的思考を行い、思考の内容を具体化することができるようになる。 学生同士、企業様と円滑にコミュニケーションを取ることができる。							

授業計画・内容	
第1回	4/11 授業の内容説明や到達目標の共有を通して、授業の目的及び企業プロジェクトについて理解することができる。
第2回	4/18 業界の現状について調べて、今の課題について理解することができる。
第3回	4/25 テーマ設定①各自でテーマを考える
第4回	5/9 前回ディスカッションした内容をもとに、課題それぞれの解決策を考える②
第5回	5/16 考えた課題解決策についてプレゼンテーションを行う。
第6回	5/23 企業様との顔合わせを行い、解決する課題について両方で共有する。
第7回	5/30 企業様へのプレゼンに向けグループワークを行う①
第8回	6/13 企業様へのプレゼンに向けグループワークを行う②
第9回	6/20 企業様へのプレゼンに向けグループワークを行う③
第10回	6/27 企業様へのプレゼンテーション 中間発表を行いフィードバックをいただく
第11回	7/4 企業様へのプレゼンに向けグループワークを行う①
第12回	7/11 企業様へのプレゼンに向けグループワークを行う②
第13回	8/22 企業様へのプレゼンに向けグループワークを行う③
第14回	8/29 最終プレゼンテーション日
第15回	9/5 最終プレゼンテーション日予備日/今回のプロジェクトに関する振り返りを行う
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率50% プレゼンテーション50%
受講生への メッセージ	企業様とともに業界の課題を考えることができる貴重な機会です。今だからこそ考えることができる課題について全力で取り組みましょう！ ※企業様の都合により日程及び内容を変更する場合があります。その際は告知致します。
【使用教科書・教材・参考書】	
資料配布、パソコンを使用することがあります。(都度告知致します)	

科目名 (英)	宿泊業務演習Ⅱ Accommodation business training Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	林田 裕也
学科・コース	ホテルグローバルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 金曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 顧客行動心理学と、その最大化を検証、構築するサービスで、お客様の満足度を最大化する為のサービス技術を習得します。 5割が顧客の行動心理に沿ったサービス構造理解と適切なサービス提供の研究、実演でスキル習得を目指します。</p> <p>※実務経験:パークハイアット東京7年間勤務、リゾートトラスト社東京ベイコート倶楽部東京後、株式会社プライムコンセプト12年専務取締役、株式会社プライムブランディングデザイン専務取締役。</p>							
<p>【到達目標】 顧客行動心理学をベースに、サービス商品の最大価値を引き出す為のスキルを身に付けます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・自己紹介
2回目	サービス商品と顧客行動心理学の関係性について理解できる
3回目	顧客の感情を逆算して、最良のサービスを体験し理解する事ができる
4回目	サービス商品における最良のタイミングを理解できる
5回目	基礎的なサービススタンダードの確認と実演で、正しいサービス姿勢を習得できる①
6回目	基礎的なサービススタンダードの確認と実演で、正しいサービス姿勢を習得できる②
7回目	顧客視点に立った、サービス提供の最良タイミングを体感できる①
8回目	顧客視点に立った、サービス提供の最良タイミングを体感できる②
9回目	宿泊サービスの実施研修 ～フロントチェックイン～
10回目	宿泊サービスの実施研修 ～客室へのエスコート～
11回目	レストランサービスの実施研修 ～ 入店から着席サービス～
12回目	レストランサービスの実施研修 ～ ファーストドリンクから料理提供の基本マナー～
13回目	レストランサービスの実施研修 ～ ファーストドリンクから料理提供の基本マナー②～
14回目	レストランサービスの基本チェック
15回目	レストランサービスの基本提供試験
準備学習 時間外学習	無し
評価方法	期末試験 50% 授業態度 50%
受講生へのメッセージ	通年の授業を通して、サービスクオリティの向上を目指しながら、顧客心理学を最大化しサービススキルを身に付けられます。 様々な体験や学びを通して、自身の最良のサービススタイルを作って行きましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
無し	

科目名 (英)	就職講座	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Work Seminar	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科						
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>社会人になった際、スムーズに仕事が進められるように、基礎知識を万全にして、自信をもって取り組めるように社会人マナー全般を学んでいきましょう。</p> <p>【実務経験】          大学卒業時の就職活動で九州各県のマスコミ企業、一般企業の面接を受け、最終面接まで多数経験。卒業後は医療コンサルティング会社の営業を経て、司会業に転身。イベント、式典、婚礼、講演会などの司会業務に従事して20年、担当婚礼件数は1,500組～を更新中。その間に、ストレスケアカウンセラー養成、また国家資格キャリアコンサルタントを取得。専門学校において、社会人基礎力、コミュニケーションの講義を担当、また大学の就活生に向けて面接指導を行い、現在に至る。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としての心構えを身に付ける</li> <li>・働くにおいて必要な基礎知識が習得できる</li> <li>・社会人において仕事に必要なスキルが身に付き、自信をもって仕事がスタートできる</li> </ul>							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション 授業の目的・新社会人1日目を意識した自己紹介
第2回	働くとは 社会人と学生の違いを認識し、社会人マナーの全般が理解できる
第3回	社会人基礎力 企業が求める人材への到達度が把握できる
第4回	敬語の使い方① 社会人にふさわしい言葉遣い、対話能力の基礎が身に付けられる
第5回	敬語の使い方② 様々なシーンにおいて臨機応変に会話対応能力が発揮できる
第6回	電話対応① ロールプレイングにおいて実践ができる
第7回	電話対応② ロールプレイングにおいて実践ができる
第8回	名刺交換のやり方 基本ルールを学び、ロールプレイングにおいて実践ができる
第9回	メールの書き方・送り方 基本ルールを学び、実際に作成送信ができる
第10回	冠婚葬祭マナー① いざという時に失礼のない正しい対応ができる。
第11回	冠婚葬祭マナー② いざという時に失礼のない正しい対応ができる。
第12回	働くとき・雇うときのルール① 働くにおいて基本的なルールが認識できる(賃金・労働時間・休日関係)
第13回	働くとき・雇うときのルール① 働くにおいて基本的なルールが認識できる(転職・退職・定年・解雇等)
第14回	多様な働き方を知る 人生において様々な節目で最適な働き方を選択できる知識が学べる
第15回	まとめ
準備学習 時間外学習	日頃から、ニュースや新聞に目を通すようにしてください。
評価方法	課題提出 20% 授業態度40% 筆記テスト40%
受講生への メッセージ	卒業したら、極端な言い方かもしれませんが、命を終えるまで社会人という長い期間が始まります。一度選んだ業界や組織でも、時代背景や人生の選択により、一生同じ働き方ができるわけではありません。その時に合った最適な働き方を、出来るだけ迷わず選択できるように、働くという概念や国の政策など、知識のひとつとして、社会人の礎概念を学んでおきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
都度、資料を配布します	

科目名 (英)	レベニューマネジメント Revenue management	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          本校において、世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測をしながら、収益を上げる為のレベニューマネジメント手法の基礎からホテルマネジメントの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為に数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】          レベニューマネジメントは航空業界から始まり、今やあらゆる業種において活用され、ダイナミックプライシングやイールドマネジメント等と名を変えて進化し続けている。特にAIによってホテル販売価格など決定されるが、その背景を認識し、ホテル客室料金設定の仕組みを知る事。また、合わせて日常的にホテル内で使用される数値計算を解答できるように指導する。多くのホテルではオペレーティングに関しては教養深く意欲も沸くが、ホテルを企業経営として深く認識し、利益の最大化を図る為のマネジメント意識を上げる事。</p>							

授業計画・内容	
1回目	レベニューマネジメントとは何か その原理原則を知り、RM (レベニュー-マネジメント) の目的が理解できる
2回目	収益管理の商品特性と市場が理解でき、RMの重要性を知る事ができる
3回目	需要予測の重要性 ホテルの商品やサービスの需要に関するデータ収集分析が将来の販売予測に重要な理由が理解できる
4回目	現在の数値分析の内容及びその重要性が理解出来るようになる
5回目	現状分析から将来の数値を予測する必要性を知る事あである
6回目	需要予測と戦略的価格設定の関係性を理解し、価格がどのようにして決定するかのプロセスを知る事ができる
7回目	在庫と価格管理 最適な在庫管理の手法をりかひできる
8回目	顧客の市場区分別分析や在庫管理戦略としての売り越し実施の条件を理解できる
9回目	価格管理 客室レートの設定 在庫と価格管理の関係性を認識することができる。
10回目	流通経路管理 非ネット系流通経路の分析手法を理解できる
11回目	ネット軽流通経路 分析手法を理解できる
12回目	宿泊収入 競合他社分析基準 を理解出来るようになる
13回目	飲食サービスのレベニューマネジメント概要を知り、宿泊業以外での価格設定方式を認識することができる。
14回目	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
15回目	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	基本的にWebsite情報を元に、色々な情報の収集を行い、分析に入る事が出発点。つまり戦略は分析から...であることを指導する。つまり学校内だけが学習の場面では無く、社会のニュースやホテル事業施設周辺マーケットや流通サービス業の価格設定等も常にリサーチしておく必要がある。情報収集能力と情報整理し学びは日常の中に沢山あり、それに気づく事が重要です。sいる 又、PCやタブレットは単なる道具ですが、当然ながら道具を使いこなすPCスキルも必要です。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生へのメッセージ	Revenue Management Yield Management Dynamic Pricing の言葉や手法が頻りに登場する世の中です。その原理原則を学ぶことでホスピタリティ産業ではどの様に活用されているかが、認識出来ます。ホテル業界は勿論「おもてなし」の精神と技術は必要ですが、一方では冷静な判断でマネジメントする能力が必要です。つまり、「Cool Head & Warm Heart」冷静な分析判断能力と、優しい暖かいおもてなしの心のバランスが必要です。産業情報にアンテナを張って沢山学びましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>・学生使用テキスト無し          ・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題          ※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcelを使用します</p>	

# 福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 2022年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	MICE実務  Mice business practice	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 バカラやブラックジャックのディーリング(2021年度の復習)やチップワークを行いながら、カジノフロアで働く人たちの役割や考え方を理解を促します。							
【実務経験】 マリーナベイサンズ(シンガポール)でメインフロアからプライベートVIPルームまでディーラーとして2年ほどの実務経験があります。							
【到達目標】 ゲームの遂行に加え、IRの有効性やカジノ内部の組織形態を理解し、カジノ業界で働くための基礎を身に付けることができる。							

授業計画・内容	
1回目	ディーリング(2021年度復習:バカラとブラックジャック)とチップワークの感覚を掴み直すことができる
2回目	IRセミナーF(前編)を受け、IRの有効性やカジノ内の組織形態を理解することができる
3回目	IRセミナーF(後編)を受け、IRの有効性やカジノ内の組織形態を理解することができる
4回目	プレイヤーとして、ディーリング(ゲーム名:シックボー)のルールと賭け方を理解することができる
5回目	ディーラーとして、ディーリング(シックボー)を行い、改善しながらゲームの遂行ができる
6回目	ディーラーとして、ディーリング(シックボー)を行い、配当を間違えずにゲームの遂行ができる
7回目	総復習:ブラックジャック・バカラ・シックボーを行い、スキルを確認出来る。
8回目	総復習:ブラックジャック・バカラ・シックボーを行い、スキルを確認出来る。
9回目	IRセミナーFの復習を行いカジノ組織について理解度を深めることができる。
10回目	筆記試験(PPT/プリント「IRセミナーF」より出題)
11回目	DVD鑑賞「CASINO(1995年)」178分 カジノの業界についての名作映画を知ることができる
12回目	DVD鑑賞「CASINO(1995年)」178分 カジノの業界についての名作映画を知ることができる
13回目	試験対策
14回目	評価週
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	なし
評価方法	期末テスト100%
受講生へのメッ セージ	今回は昨年度の復習、新しいゲーム、IRや組織形態について学びます。 カジノ業界で働けるようにスキルや知識をつけましょう! よろしく願いいたします。
【使用教科書・教材・参考書】 ①PPT「IRセミナー2022F」 ②プリント「IRセミナー2022F(PPTのスライド)」	

科目名 (英)	マナープロトコル(2級) Manner Protocol (2nd level)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加藤 亜紀
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 曜日・時限 火曜日3時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>【学習内容】2級の検定試験は出題形式が3級とは異なり、より深い学習が必要です。問題集、模擬問題を繰り返し解くことで試験問題に慣れ自信をもって2級の検定試験に臨むことができます。1年生で一通りの学習は終わっておりますので、グループで記述問題を作成し、皆で解き、自主的に学ぶ時間を取り、達成感を感じられる講義に致します。学習の成果として最終的に「文部科学省後援マナー・プロトコル検定2級」の合格を目指します。</p> <p>※実務経験：NPO法人日本マナー・プロトコル協会認定講師。ニチイ学館委託講師22年、接遇マナー研修担当。平成21年に講師業Cherryを起業、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコル」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接遇」「キャリア」の講義等を担当。また企業、医療機関、学校等でのマナー研修も行う。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>社会人を対象とされるワンランク上の「マナー・プロトコル検定2級」の資格取得に臨みます。ワンランク上の資格は就職活動においても自信をもってアピールできます。より深い学習により、マナーや美しい所作を身につけることができます。マナーを心得た社会人としても自信をもって社会生活をスタートできます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(学習の進め方等)。第1章マナーの歴史と意味:テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。該当部分の記述問題作成について(次回からは生徒達で記述問題を作成し参加する)問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
2回目	第2章国際人としてのプロトコル①(パーティのマナーまで):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
3回目	第2章国際人としてのプロトコル②(挨拶と紹介～):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
4回目	第3章社会人に必要なマナー①(礼装の基準まで):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
5回目	第3章社会人に必要なマナー②(喜ばれる贈答品～):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
6回目	前回の(贈答品のマナー～)の部分の記述問題を解く。ポイント解説。ここまで内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って中間テストに臨むことができる。
7回目	中間テスト(ここまで内容が理解出来ているか確認テストを行う)・振り返り
8回目	お酒のマナー:お酒の種類、ワインの基礎知識を学ぶことができる。6章の確認テスト、問題集の該当問題を解き、理解を深める。
9回目	第4章ビジネスシーンのマナー①(接待のマナーまで):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。生徒達で作成したお酒のマナーの記述問題を解き、ポイント解説を行う。
10回目	第4章ビジネスシーンのマナー②(ビジネス文書～):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。インターンシップのお礼状作成、文書構成を理解することができる。
11回目	第5章食事のマナー①(和食のマナーまで):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、生徒ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
12回目	和食のマナーの生徒作成の記述問題を解き、ポイント解説。ここまで模擬問題を解いてみることで問題の形式に慣れることができる。
13回目	ここまで内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って期末テストに臨むことができる。
14回目	期末試験
15回目	期末テストの振り返り
準備学習 時間外学習	前回学習した部分の記述問題をグループで作成する。問題集を解き直し復習する。
評価方法	①中間テスト、期末テスト、模擬テストの点数 ②授業態度 ③提出物を期日までにきちんと提出する。
受講生への メッセージ	1年生で学んだことを更に学習を深めることで立ち振る舞いやマナーをより理解し、自分のものとして出来るでしょう。ワンランク上の資格を取得することは、皆さんが目指すホテルや観光、航空会社での就活において大きな自信となるでしょう。社会人として仕事をする上でも大きな自信は皆さんを更に輝かせてくれます。文部科学省後援マナー・プロトコル2級の資格を取得出来るよう一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「マナー&プロトコルの基礎知識」、「マナー・プロトコル検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコル協会発行	

科目名 (英)	ホスピタリティマーケティング基礎	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Hospitality marketing basic	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験 株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン プライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。</p>							
【到達目標】 数字を使いこなす : 頭のイメージを言語化→数値化→具体化→伝達化 できる							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション 社会における数字の世界概要
第2回	目標達成を数値化する方法1 : 目標設定 : 頭の中のイメージを数字で表現するスキルを身につけることができる
第3回	目標達成を数値化する方法2 : アンカリング効果 : 顧客が反応するポイントを把握するスキルを身につけることができる
第4回	目標達成を数値化する方法3 : サムシングニューの数字設定 : マインドスキルアップに伴い効果的なセールストークスキルを身につけることができる
第5回	言語化のポイントは数字で表現する1 : 思考のものさし : 頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
第6回	言語化のポイントは数字で表現する2 : 理解言葉と使用言葉 : 頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
第7回	言語化のポイントは数字で表現する3 : 具体化 : 頭の中のイメージの言語を数字で具体化するスキルを身につけることができる
第8回	言語化のポイントは数字で表現する4 : プロフィールを数字で作成 : セールス時の説得力を身につけることができる
第9回	言語化のポイントは数字で表現する5 : アウトプット: 具体化された数字をストーリーに : 伝達力を見につけることができる
第10回	言語化のポイントは数字で表現する6 : アウトプット: 具体化された数字をストーリーに : 伝達力を見につけることができる
第11回	数字を引用したセールストーク1: 或る会社の商品(プライダル業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いを数値化したトークスキルを身につけることができる
第12回	数字を引用したセールストーク2: 或る会社の商品(サービス業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いを数値化したトークスキルを身につけることができる
第13回	数字を引用したセールストーク3: 或る会社の商品(サービス業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いを数値化したトークスキルを身につけることができる
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト 振り返り 復習 まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	PCを使用
受講生への メッセージ	残り少ない学生期間で、数字の深掘りをし、アウトプットし伝達する力を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】	
PC・USB持参	

科目名 (英)	ホスピタリティエコノミクス	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
	Hospitality Econoics	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科				2	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験 株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン プライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。</p>							
【到達目標】 数字を使いこなす : 頭のイメージを言語化→数値化→具体化→伝達化 できる							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション 社会における数字の世界概要
第2回	目標達成を数値化する方法1 : 目標設定 : 頭の中のイメージを数字で表現するスキルを身につけることができる
第3回	目標達成を数値化する方法2 : アンカリング効果 : 顧客が反応するポイントを把握するスキルを身につけることができる
第4回	目標達成を数値化する方法3 : サムシングニューの数字設定 : マインドスキルアップに伴い効果的なセールストークスキルを身につけることができる
第5回	言語化のポイントは数字で表現する1 : 思考のものさし : 頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
第6回	言語化のポイントは数字で表現する2 : 理解言葉と使用言葉 : 頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
第7回	言語化のポイントは数字で表現する3 : 具体化 : 頭の中のイメージの言語を数字で具体化するスキルを身につけることができる
第8回	言語化のポイントは数字で表現する4 : プロフィールを数字で作成 : セールス時の説得力を身につけることができる
第9回	言語化のポイントは数字で表現する5 : アウトプット: 具体化された数字をストーリーに : 伝達力を見につけることができる
第10回	言語化のポイントは数字で表現する6 : アウトプット: 具体化された数字をストーリーに : 伝達力を見につけることができる
第11回	数字を引用したセールストーク1: 或る会社の商品(プライダル業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いをデジタル化したトークスキルを身につけることができる
第12回	数字を引用したセールストーク2: 或る会社の商品(サービス業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いをデジタル化したトークスキルを身につけることができる
第13回	数字を引用したセールストーク3: 或る会社の商品(サービス業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いをデジタル化したトークスキルを身につけることができる
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト 振り返り 復習 まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	PCを使用
受講生への メッセージ	残り少ない学生期間で、数字の深掘りをし、アウトプットし伝達する力を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】	
PC・USB持参	

科目名 (英)	業界研修Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高増 千秋 / 佐野 太一
	Business Internship Ⅱ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科				4	曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
業界研修で現場に必要な知識を身につけ、就職活動や自身の生活で活かすことができるようになる。							
※実務経験: 2007年4月～2021年3月までホテルフロントスタッフとして4年間勤務経験。(高増) 広告業界において、企画制作に携わりその後教育職及び就職関連業務に従事。(佐野)							
【到達目標】							
・自分が目指す業界や企業の現状を知ることができる。 ・現場に必要なスキルを身につけることができる。							

授業計画・内容	
第1回	業界研修に向けての準備
第2回	業界研修に向けての準備
第3回	業界研修に向けての準備
第4回	業界研修に向けての準備
第5回	業界研修に向けての準備
第6回	業界研修
第7回	業界研修
第8回	業界研修
第9回	業界研修
第10回	業界研修
第11回	業界研修の振り返り
第12回	業界研修の振り返り
第13回	業界研修の振り返り
第14回	業界研修の振り返り
第15回	業界研修の振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	準備～振り返りまでのレポート 100%
受講生への メッセージ	しっかり業界、企業研究をして臨みましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
配布資料、パソコンを使用する機会がありますので告知します。	